

体育館シューズ 135 足フィリピンの子どもたちに寄付

資源リサイクル推進チームの呼びかけで集まった、49 期卒業生の不要になった体育館シューズを、フィリピンのミンダナオこども図書館に寄付しました。3 年前から引き取り手のない落とし物のシューズをボランティア部の皆さんに洗っていただいて寄付してきましたが、今年は、学校のゴミ分別や資源リサイクルを推進するための活動をしている資源リサイクル推進チームの発案と呼びかけで実現しました。

フィリピンでは靴はとても高価で、多くの子どもたちは裸足で過ごしています。そうした子どもたちに靴を履いてもらって、けがをせずに思いっきり活動してもらいたいという思いをこめて呼びかけをしたところ、135 足が集まりました。

寄付については、当初より、47 期卒業の田坂共愛さんと保護者の田坂好生さんのご協力の下行われています。田坂さんは大変長い間、ミンダナオこども図書館への支援活動を続けていらっしゃいます。山手学院の建学の精神である「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」とは、このように世界のどこかで困っている人を少しでも幸せにするために活動できる方のことと思います。山手学院は、こうした活動を通して、たとえわずかずつでも「世界人」としての役割を果たしていきたいと思います



47 期田坂共愛さんとお父様の田坂好生さん
中央が 135 足の靴です。

※ミンダナオこども図書館は、フィリピンの地域の村に入って絵本などの読み聞かせ活動、医療支援、就学支援、保育所支援、子どもシェルター、難民救援活動、植林活動などをおこなっている現地 NPO 法人です。<http://www.edit.ne.jp/~mindanao/mindanews.htm>

※山手学院資源リサイクル推進チームは、2019 年秋に、生徒会と有志の中高生で発足しました(現在はコロナの影響で活動を休止しています)。